

# 持続性社会創生科学研究科

## 国際乾燥地科学専攻

わたしたちの未来の鍵を握る乾燥地のために、  
今できること。



## 研究科長のあいさつ

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科長  
中島 廣光

グローバル化の進展と情報通信技術の驚異的な発展により、社会はヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えてすごいスピードで行き交い、また、常に新しい知識や情報を取り入れないと生きていけない社会に姿を変えました。また、日本の社会に目を向けると少子高齢化が進み、医療福祉費の増大、人口減少に伴う生産人口の減少という多くの課題を抱えています。高等教育機関、特に大学院修士課程（博士前期課程）の役割は、そういった目まぐるしく変化する社会、将来を見通せない厳しい社会の中にあってそれぞれの専門分野においてしっかりと社会に貢献できる人材を養成することにあります。そのためには、これまでの大学院教育で行われてきた狭い専門分野における高度な知識・技能の習得だけでなく、分野を超えた幅広い知識や体験に基づいて俯瞰的かつ地球的視野から総合的に物事を考えられる思考力が充分習得できる教育の仕組みが必要となります。

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科では持続性社会の創生に貢献できる高度専門職業人を養成することを目的に、従来の専門性の高い高度な知識・技能に加え、分野を超えた幅広い知識や体験に基づく俯瞰的かつ地球的視野から総合的に物事を考えられる思考力が充分、習得できるように、カリキュラムを様々に工夫しました。さらに本研究科では課題の発見と解析から課題の解決とその説明までの総合的な能力の習得と向上にも特に力を入れています。

本研究科は世界や日本が現在、直面している課題、近い将来、直面するであろう課題の解決に寄与できる人材の育成を目指しています。

### ●専攻・入学定員

専攻名	入学定員
地域学専攻	10人
	10人
工学専攻	165人
農学専攻	46人
国際乾燥地科学専攻	20人

持続性社会創生科学研究科(博士前期課程)は、従来の専門分野の枠を超えて持続性社会の創生に関わる体系的・組織的な大学院教育を行うための体制を取っています。本研究科は、幅広い課題を理解した上で、自らの専門性を深めるため、地域学専攻、工学専攻、農学専攻、国際乾燥地科学専攻の4つの専攻で構成されています。





## 専攻長のあいさつ

国際乾燥地科学専攻長  
山中 典和 教授

鳥取大学持続性社会創生科学研究科の国際乾燥地科学専攻は1967年に発足した農学研究科を母体とし、2017年度からスタートした新しい専攻です。鳥取大学の強みであり特色である乾燥地研究を背景に、地球規模の課題の解決に貢献する国際人の養成を目的としています。

乾燥地は世界の陸地面積の41%を占め、世界人口の35%に相当する人々が暮らしています。そこには砂漠化や干ばつを始めとする、地球規模の課題が存在します。これらは、乾燥地の課題であるとともに、乾燥地が存在しない日本に暮らす、私たち自身の課題でもあります。経済のグローバル化により、私たちが日々口にする食料にも乾燥地由来のものが多く含まれるようになりました。乾燥地での農業が干ばつなどにより被害を受けると輸入国である日本にも影響が及びます。日本にやってくる黄砂の発生にはモンゴルや中国の乾燥地における砂漠化や干ばつが大きく関わっています。さらに日本は、国際条約である「砂漠化対処条約」の締約国でもあります。国際社会の一員として乾燥地における問題に取り組む責務を負っています。

乾燥地で生じている環境問題、食糧問題等の解決には、農業、環境保全等に関する知識・技術を修得し、併せて多様な文化や住民の生活の質に関わる知識を身に付けることが求められます。このために本専攻は、一般コースと特別コースの2つのコースを設けています。一般コースは基本的に日本語で学べるコースです。特別コースでは授業や研究指導等が全て英語で行われ、留学生と日本人が共に学べるコースとなっています。

このように、国際乾燥地科学専攻では、グローバルな視点に立って、自然と調和する持続性社会の創生のために活動できる人材を養成します。グローバル時代に生じている様々な問題に興味を持ち、解決のために自ら貢献したいと考える皆様の進学をお待ちしています。



## ●教育・研究の特色

### ▶ 教育方法の異なる2つのコース

本専攻には「一般コース」と「特別コース」があり、一般コースでは専門分野を基軸として乾燥地で生じている問題を解決できる人、特別コースでは授業や研究指導等をすべて英語で学び、より実践的に海外で活躍できる人を養成します。

### ▶ 外国人教員による最高レベルの講義や海外演習

専門科目として、外国人教員によるトップサイエンティストレクチャ I, II, III, IVや海外実践演習を設け、海外の現場を体験しつつ、外国の現場で活躍できる人を養成します。

### 授業の一例 (一般コース)

	科目名	担当教員
研究科共通科目	持続性社会創生科学概論1	恒川 他
	国際乾燥地科学特論 I (環境)	木村 他
専攻基幹科目	トップサイエンティストレクチャ I (E)	ビリー
	サイエンティフィック・ライティング(E)	ペン
専攻展開科目	海外実践演習(E)	専攻長
	乾燥地地圏環境保全学特論	齊藤
	乾燥地灌漑排水学特論	藤巻・清水
	乾燥地植物生態学特論	衣笠
	乾燥地植物資源学特論(E)	辻本・安・石井
(E)は英語科目	国際農業開発学特論	安延・アスレス



## ●アクセス・お問合せ

国際乾燥地科学専攻は、鳥取キャンパス（鳥取市湖山町）、浜坂キャンパス（鳥取市浜坂）の2つのキャンパスで教育を行ない、事務窓口も両キャンパスに設置しています。



### 専攻全般に関すること

(国際乾燥地研究教育機構事務室)

〒680-0001 鳥取市浜坂1390

国際乾燥地研究教育機構事務室

(乾燥地研究センター内)

TEL : 0857-30-6316

e-mail : ipd-zim@ml.adm.tottori-u.ac.jp

### 入試に関すること

(農学部教務係)

〒680-8553 鳥取市湖山町南4丁目101

鳥取大学農学部教務係

TEL : 0857-31-5342

e-mail : ag-kyomu@ml.adm.tottori-u.ac.jp